

1. 預金・債券による運用実績の改善

年度	預金		債券		利子収入		
	運用額	平均利回り	運用額	平均利回り			
R4 2022年度	1076億	0.020%	901億	0.106%		約1.0億	
R5 2023年度	1,242億	0.038%	900億	0.171%		約1.9億	
R6 2024年度	1,463億	0.152%	927億	0.271%		約3.5億	
改善期 (成果拡大)	R7 2025年度	1,396億	0.721%	1,237億	0.510%		約12.1億
	R8 2026年度	1,401億	0.826%	1,237億	0.846%		約25.8億 (見込み)



資料2 東京都公金管理実績ダッシュボード

公金管理実績
ダッシュボード

目次

運用商品別内訳

運用収入及び利回り推移

金融機関種別預金内訳・
債券種別内訳

年度を選択

令和7年度

資金区分を選択

- ☐ すべて選択
- ☐ 歳計現金等 ②
- ☐ 基金
- ☐ 準公営企業会計資金

注 計数については、表示単位未満を四捨五入し端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合がある。

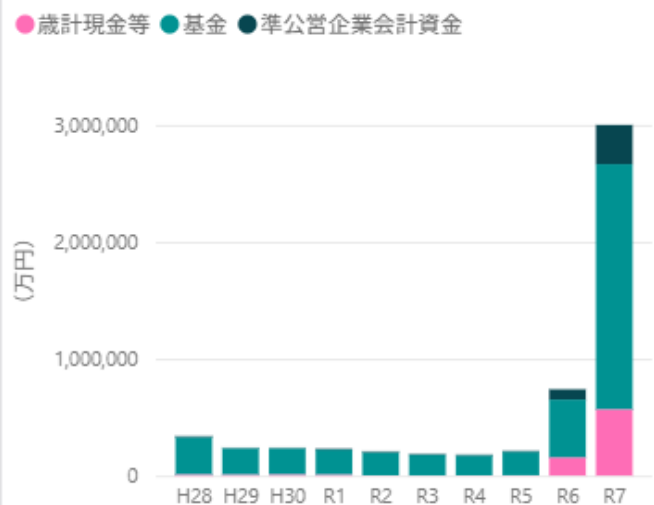
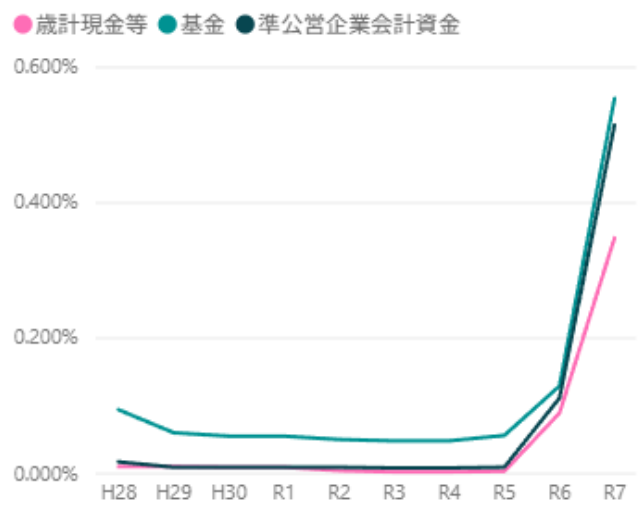
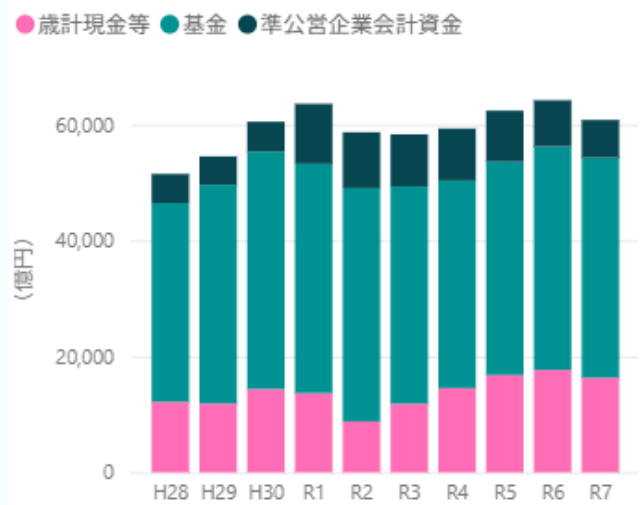
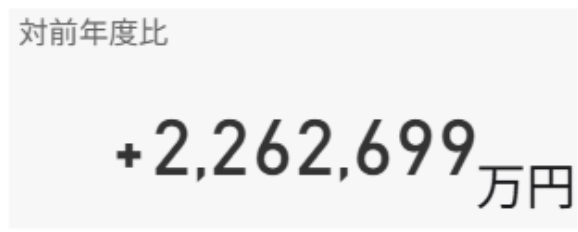
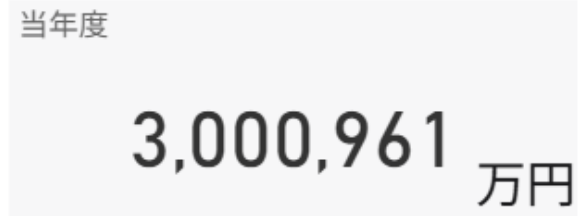
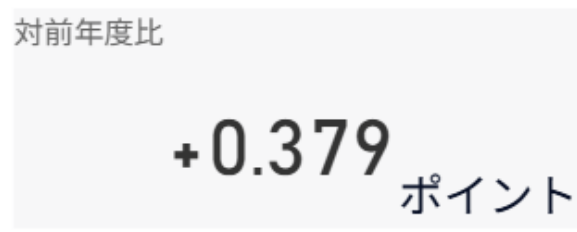
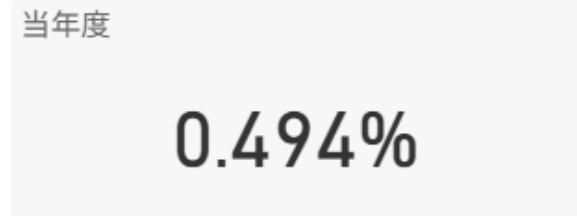
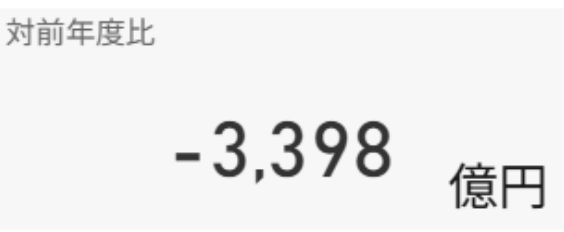
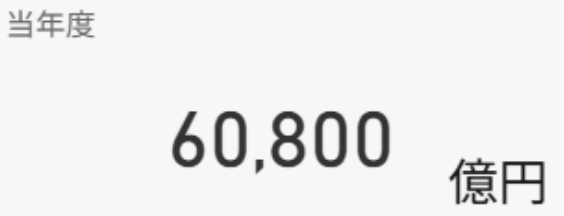
年間実績

四半期実績

平均残高

利回り ②

運用収入 ②



公金管理実績
ダッシュボード

目次

概要

運用収入及び利回り推移

金融機関種別預金内訳・
債券種別内訳

年度を選択

令和7年度



注 計数については、表示単位未満を四捨五入し端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合がある。

年間実績

四半期実績

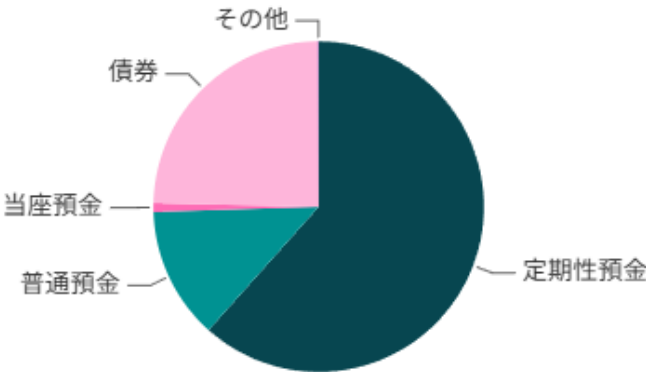
運用商品別内訳 (単位：億円)

運用商品	期中平均残高	構成比	前期末残高	当期末残高	増減額	増減率
預金	45,809	75.3%	50,248	41,670	-8,578	-17.1%
定期性預金	37,454	61.6%	41,376	34,675	-6,700	-16.2%
普通預金	7,842	12.9%	8,236	5,858	-2,378	-28.9%
当座預金	514	0.8%	636	1,137	501	78.7%
債券	14,973	24.6%	9,672	15,566	5,894	60.9%
債券	14,973	24.6%	9,672	15,566	5,894	60.9%
その他	18	0.0%	1	1	0	0.0%
その他	18	0.0%	1	1	0	0.0%
合計	60,800	100.0%	59,921	57,237	-2,684	-4.5%

注 「その他」とは、基金から歳計現金への繰替貸等である。

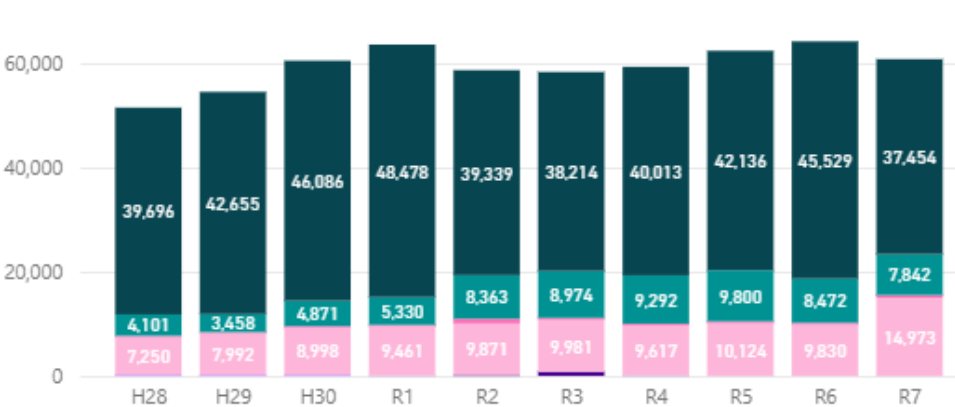
期中平均残高の内訳

定期性預金 普通預金 当座預金 債券 その他



期中平均残高の推移

定期性預金 普通預金 当座預金 債券 金銭信託 その他



第30回東京都公金管理アドバイザー会議

- ・ 日 時：令和8年7月30日（木）13:15～15:00（予定）
- ・ 場 所：東京都庁第一本庁舎南塔33階 特別会議室S5

会 議 次 第

1 開 会

局長挨拶

2 議 事

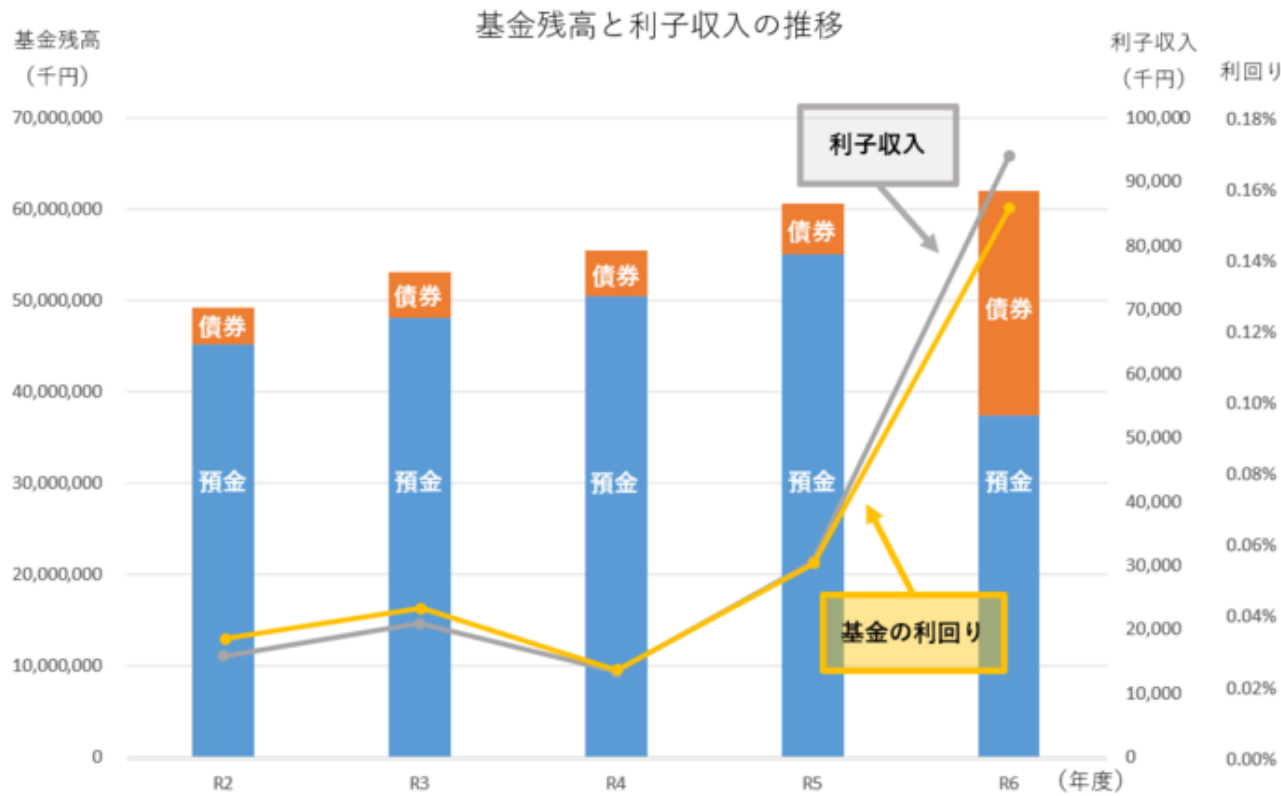
○ 議題

- 1 令和7年度公金管理実績（年間）について
- 2 公金管理を取り巻く環境と令和8年度公金管理計画に基づく取組状況
- 3 公金運用の方向性について
- 4 決算等を踏まえた預金先金融機関等の評価について
 - （1）新規預金先の評価について
 - （2）邦銀の本決算を踏まえた評価について
 - （3）外銀の本決算等を踏まえた評価について
 - （4）債券発行体の動向等を踏まえた評価について

日 時	令和8年7月30日（月） 13:15 ～ 14:55
場 所	都庁第一本庁舎南塔 33 階 特別会議室 S5
出 席 者	委 員）今井委員、内山委員、澁美委員、野崎委員 事務局）梅村局長、巻嶋管理部長、鈴木総務課長、松田公金管理課長、西元資金運用担当課長
欠 席 者	なし
議 題	1 令和7年度公金管理実績（年間）について 2 公金管理を取り巻く環境と令和8年度公金管理計画に基づく取組状況 3 公金運用の方向性について 4 決算等を踏まえた預金先金融機関等の評価について （1）新規預金先の評価について （2）邦銀の本決算を踏まえた評価について （3）外銀の本決算等を踏まえた評価について （4）債券発行体の動向等を踏まえた評価について
要 旨	（1） 会計管理局長挨拶 （2） 議題1 令和7年度公金管理実績（年間）について 事務局 令和7年度の公金管理実績について、どのように捉えたか。 委 員 金利上昇局面を見据えて計画していたことが実績につながっており、良好な成果であったと言える。信用リスクを適切に管理し、運用できた点で評価できる。 委 員 日本銀行が公表している大口定期預金の実勢レートを上回る実績が得られており、これまでの方向性は妥当。 委 員 資金管理の精緻化を図るなど、適切に流動性を管理できており評価できる。債券割合を増やしつつ、流動性を過度に評価せずに効率性を重視してきたことが奏功したものとする。 （3） 第30回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 本会議は、東京都公金管理アドバイザー会議設置要綱第5条で原則公開と定めているが、委員の意見を聞いた上で、非公開とすることができると規定している。 議題2以降の内容について、委員全員が非公開での実施が適当と表明したことを踏まえ、非公開とすることを決定。 （4） 議題2 公金管理を取り巻く環境と令和8年度公金管理計画に基づく取組状況 事務局 今後の金融環境について、懸念点や注視すべき事項があるか。 委 員 日銀の金融政策が、今後も安定的な利上げを継続するのか、慎重な姿勢に転じるのか

資料5 武蔵野市ホームページ 基金運用について

直近5年間における運用状況の推移



年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年度末残高(千円)	49,269,091	53,091,960	55,410,991	60,578,185	61,904,161
(内訳)預金	45,171,026	48,094,088	50,412,034	54,983,213	37,467,377
(内訳)債券	4,098,065	4,997,872	4,998,957	5,594,972	24,436,784
利子収入(千円)	15,814	20,899	13,343	30,477	93,874
基金の利回り	0.034%	0.042%	0.025%	0.055%	0.155%

資料6 武蔵野市歳計現金及び基金管理運用委員会 議事要旨

令和8年3月4日武蔵野市歳計現金及び基金管理運用委員会 議事要旨

質問	この計画に基づいて、令和8年度分の運用更新を行うと、預金と債券の割合はどの程度になるか。
----	--

回答	構成比率は預金が21.4%、債券が78.6%となり、概ね2：8となる。
----	-------------------------------------

質問	債券の割合が大きく増えてきているように感じるが、年度途中の緊急的な支出や、今後の投資的経費支払いの際の取崩しが問題なく行えることを今一度確認したい。
----	--

回答	資金量が過去最高の約670億円であり、2割弱とはいえ預金量は約143億円と、本市の標準財政規模の約3割弱程度を確保している。年度中の突発的な支出事情が発生しても十分に対応できる量であると考え。また、直近の財政計画及び財政シミュレーションに基づき長期展望試算を行っており、計画に対して2種類のストレスをかけた場合の試算も行い、問題無く支出できることを確認している。なお、令和9年度、10年度には投資的経費の短期的なピークを迎えることの確度が極めて高い状況であり、ここで多くの基金を取り崩すことを想定して、2年程度の短い期間の債券量を厚くしており、その点でも問題無いものと考えている。
----	--